

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

曾根地区

平成26年3月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	JR下曽根駅の乗降客数	人/日	11,634	12,125	12,157	確定 見込み ●	○	あり なし	12,312	H25年7月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	空港移転地及び周辺の道路等の基盤が整備されたことにより、医療関係施設や大学学部校舎等の立地が進み、また住宅団地が完成し居住者も増えたことから、JR下曽根駅乗降客数が増加し、目標を達成した。
指標2	雇用創出	人	0	900	110	確定 見込み ●	△	あり なし ●	110	H25年4月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	近年の全国的な経済情勢等により、目標を達成することはできなかったが、立地を表明した企業が複数あることから、今後雇用者数の増加が見込まれる。
指標3	環境施設面積	m ²	45,494	56,800	53,394	確定 見込み ●	△	あり なし ●	53,394	H25年4月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	緑の軸線部分の道路整備等の進捗により、目標を達成することはできなかったが、面積は着実に増加しており、周辺環境に調和した都市空間の形成は進んでいる。
指標4	道路整備率	%	7.0	8.0	8.0	確定 見込み ●	○	あり なし	8.0	H25年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	空港移転地内及び周辺の道路整備が進捗したことにより、目標を達成した。交差点改良等も進んだことから、交通ネットワークの強化や交通安全性の向上が図られた。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	昼間人口	人	0	/	1,800	確定 見込み ●	/	/	1,800	H25年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自動車関連企業や医療関係施設、大学学部校舎等の立地により、昼間人口が増加するなど空港移転地の注目度が上がったことから、今後の企業誘致活動への好影響を期待できる。
その他の数値指標2	緑地面積	m ²	0	/	15,343	確定 見込み ●	/	/	15,343	H25年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	立地した企業、病院等の敷地に新たな緑地が整備されたことから、憩いの空間や周辺環境に調和した都市空間の形成が進んでいる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	○道路ネットワークの充実	門司区と小倉南区を結ぶ6号線や空港移転跡地内の曾根225号線で測量設計や用地買収等を行い、事業進捗を図った。	曾根225号線は用地買収が難航しており、交差点部の道路整備工事に着手できず、供用開始できなかった。	引き続き、早期完成を目指し、道路ネットワークの強化・充実を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	○大規模未利用地の有効活用 産業誘致による雇用確保及び人口の増加	進出企業の操業開始をサポートするとともに、幅広い業種を対象に誘致活動を展開し、企業立地の促進を図った。	(株)コスモス薬品の物流センターと(株)プリントパックの印刷工場がH25.10に操業を開始した。	引き続き、進出企業の操業開始をサポートするとともに、幅広い業種を対象に誘致活動を展開し、企業誘致を実現する必要がある。
	○周辺の豊かな自然環境との調和・保全・共生	曾根干潟と産業団地との緩衝機能となる環境保全地区の土壤調査や現地測量を行い、土地開発公社用地の買い戻しを行う予定である。	環境保全地区整備に向けて、事業が進捗した。	今後は公共事業評価を受け、基盤整備工事、環境対策工事、公園整備工事に着手する予定である。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項